※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（専）音楽科

教科	（専）音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「The Basic of Music」２訂版（教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽を学ぶ上で必要な読譜や記譜を、視唱・新曲視唱・聴音の３つの分野で学習します。
・視唱（新曲視唱）は、楽譜を見て簡単な旋律を、正確な音程とリズムで歌います。（無伴奏）
・聴音は、ピアノで演奏される旋律を聴き取り、正確に記譜する作業をします。
・専門的で、非常に高度な内容ですが、音楽をより深めるには必須科目です。

２　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
1　視唱、及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。
2　音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
3　音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	視唱、視奏、及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。 ・視唱、視奏、及び聴音について理解している。（知識） ・視唱、視奏、及び聴音に関す技能を身に付け、歌唱や器楽で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、自己とのイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもって創意工夫している。	主体的・協働的に音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	視唱	・発声練習 ・テキストの楽譜を正確に読み取り無理のない発声で歌う練習をする。	a：曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と音楽の関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に歌唱表現の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察
	新曲視唱	・初めて見る楽譜を正しく読み、歌うことができるように訓練をする。	a：曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と音楽の関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に歌唱表現の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

二学期	聴音	・ピアノによって演奏される音を聴き取り、そのリズムや音程などを正確に記譜する。	a:記譜するために必要な楽典や音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:記譜するために必要な技能を身に付けている。（技能） c:聴音の学習に関心をもち、主体的、協働的に聴音の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題		ワークシート 授業観察
	視唱	・発声練習 ・テキストの楽譜を正確に読み取り無理のない発声で歌う練習をする。	a：曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と音楽の関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に歌唱表現の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

三学期	新曲視唱	・初めて見る楽譜を正しく読み、歌うことができるように訓練をする。	a：曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもって創意工夫している。 c:曲想と音楽の関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的、協働的に歌唱表現の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート 授業観察
	聴音	・ピアノによって演奏される音を聴き取り、そのリズムや音程などを正確に記譜する。	a:記譜するために必要な楽典や音楽の構造との関わりについて理解している。（知識） a:記譜するために必要な技能を身に付けている。（技能） c:聴音の学習に関心をもち、主体的、協働的に聴音の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題		ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度